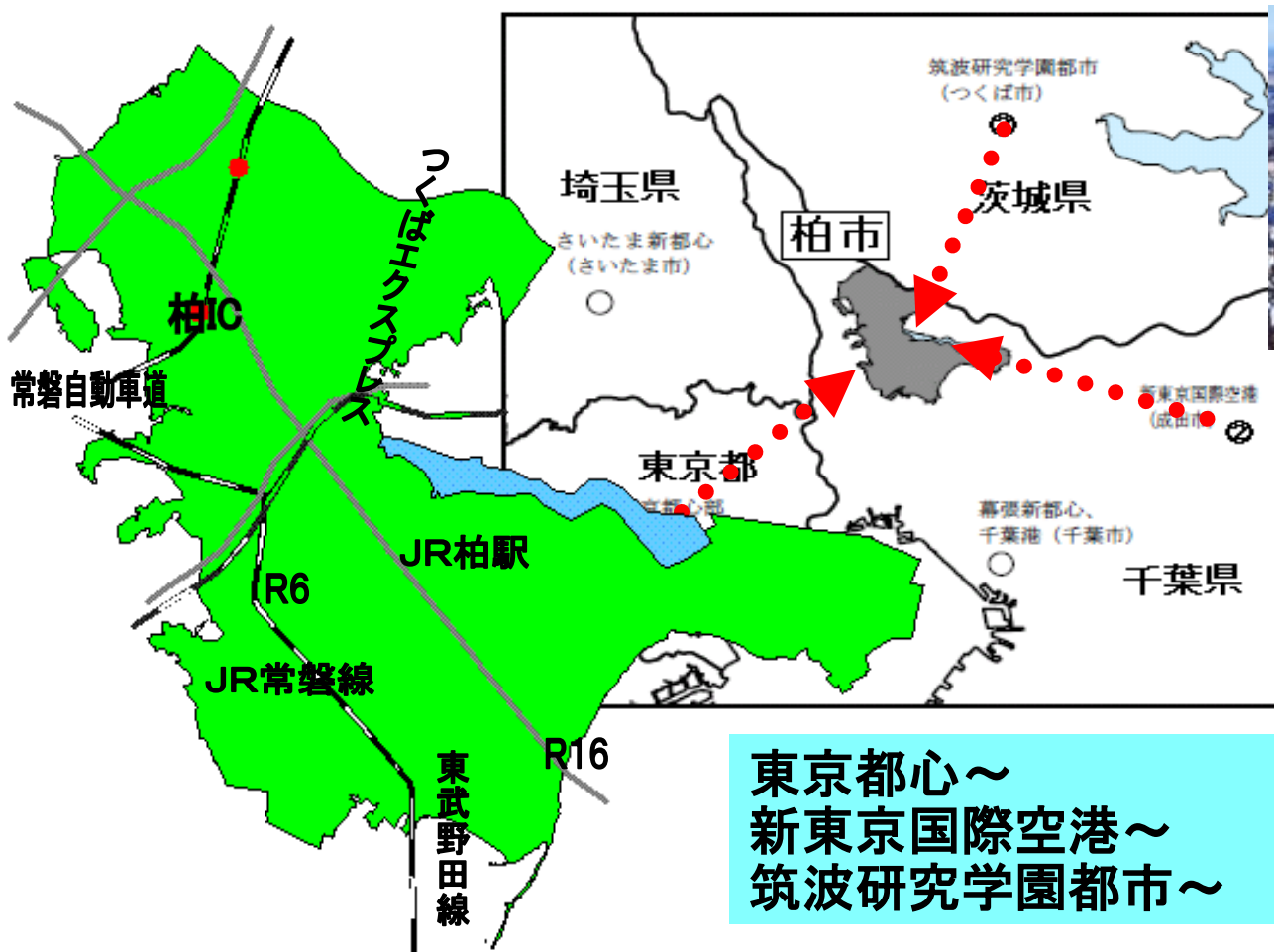


柏市の商・工・農業の現状と今後

柏市の商業(概況)

1. 活性化の原点: 常磐線の複々線化(1971年)

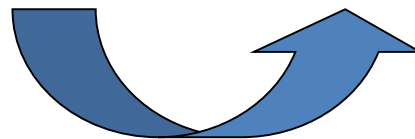


人口 421,184人
世帯 182,609世帯
(平成29年11月1日現在)

東京都心～ 約30km
新東京国際空港～ 約30km
筑波研究学園都市～ 約30km

柏市の商業（概況）

2. 柏駅東口の再開発・ダブルデッキの設置と そごうの進出



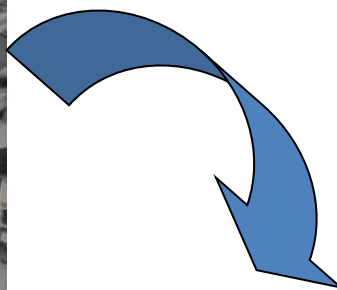
昭和48年ごろの柏駅

柏市の商業（概況）

3. 柏駅西口の再開発・高島屋・金融機関の進出



昭和40年ごろの柏駅

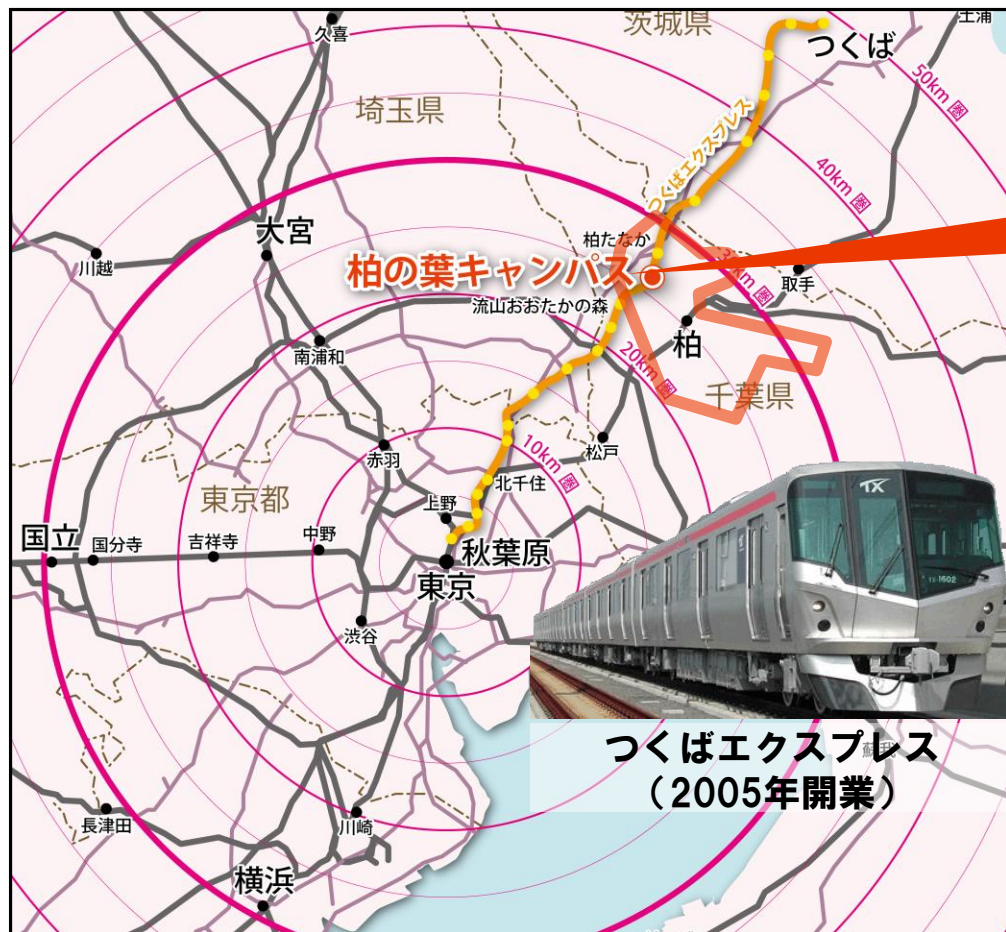


現在(平成21年)の柏駅

柏市の商業(概況)

4. TXの開通による北部経済圏の進出

おおたかの森、柏の葉キャンパス(三井不動産中心)



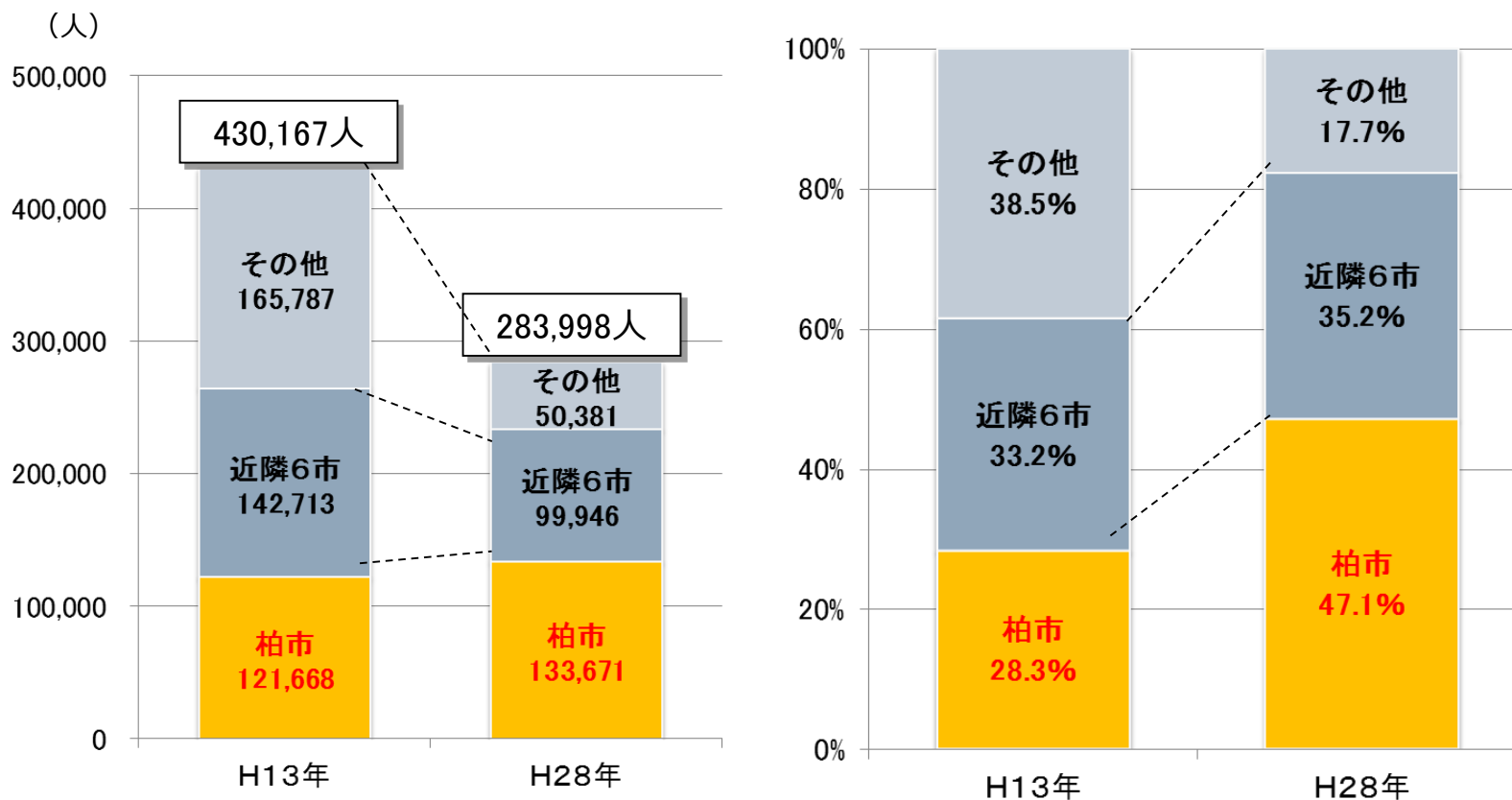
柏の葉キャンパス



柏駅周辺の現状

柏駅周辺の商圈は縮小，より足元依存型へ

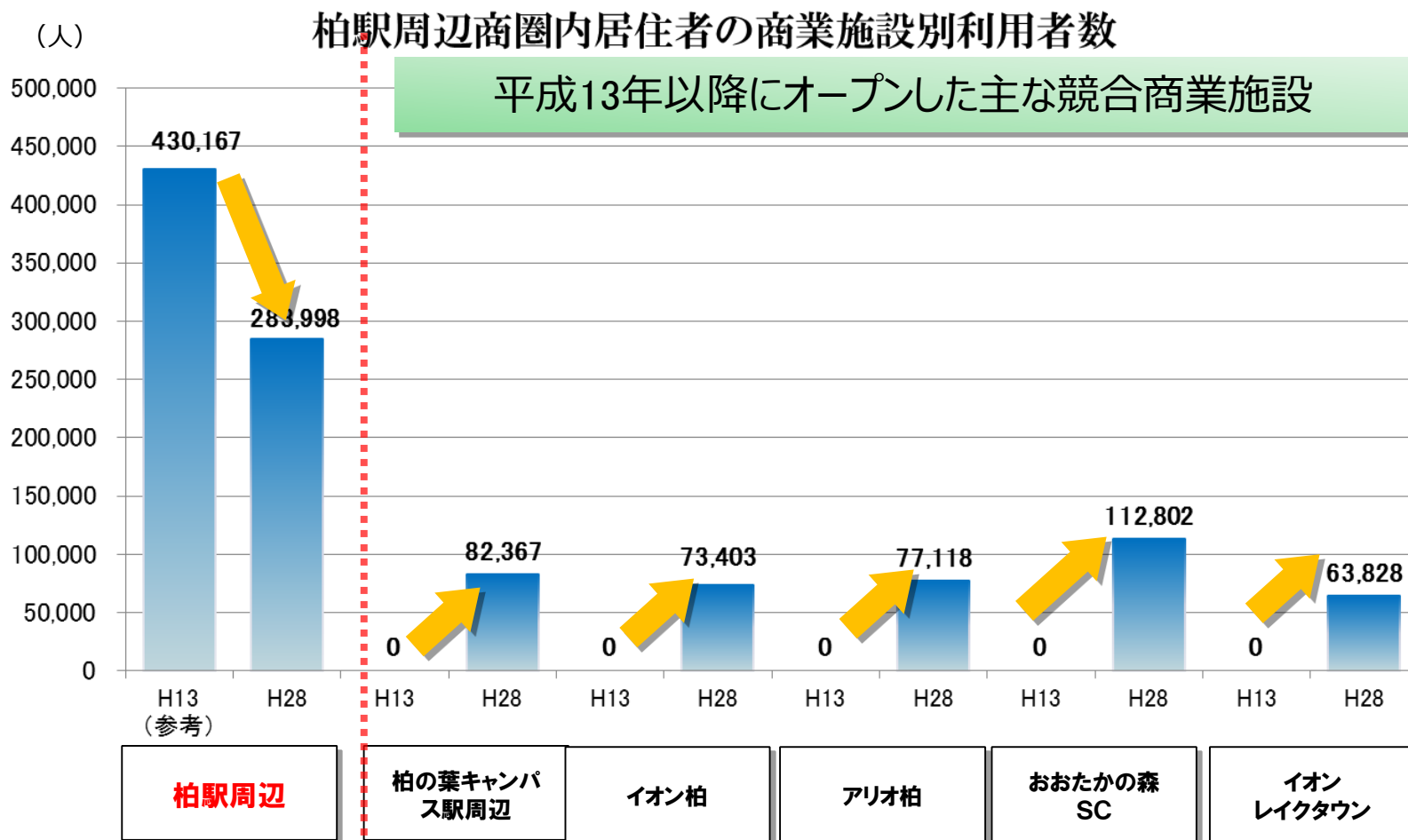
柏駅周辺利用者数の内訳構成



出典：柏市の商圈とその構造（柏市商圈調査）H14年3月，H28年度柏市商業実態調査（ただし各自治体人口は4/1現在のもの）
【H13年データについて】現在の調査と手法が異なるため，時系列比較上H28年データを元に今回オリジナルでシミュレーション・算出したもの。

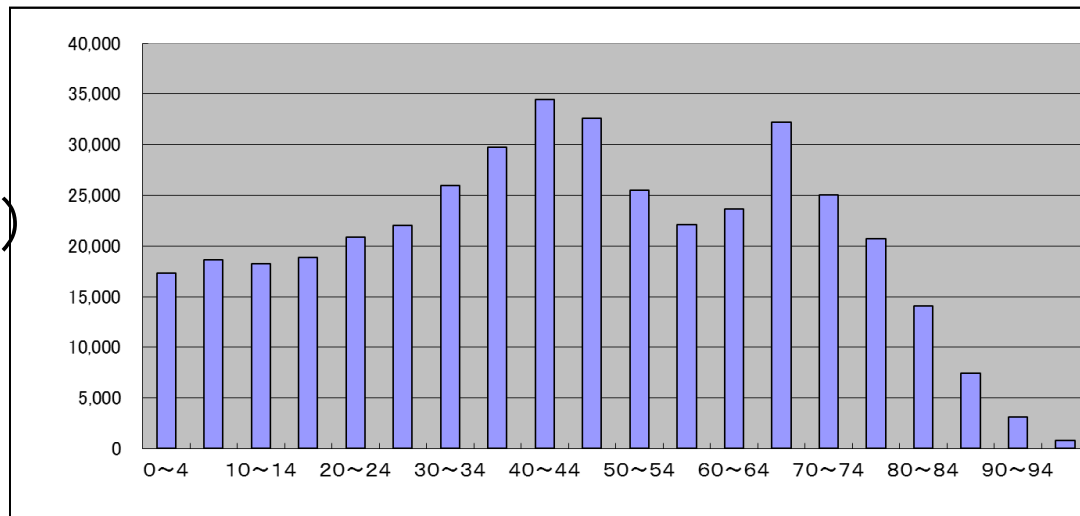
柏駅周辺の現状

市内外の競合が濫立



柏市の工業(現状)

- (1) 総人口 約41万人
(平成29年4月)
65歳以上 10万人(25%)



- (2) 事業所数は平成21年より減少傾向
→市内産業衰退の恐れ⇒活性化が喫緊の課題
- (3) 法人市民税
現状は減少傾向
⇒市内産業の強靱化が必要
- ①企業誘致②創業支援③経営基盤強化

柏市の工業（市内産業の強みと弱み）

(1) 強み ① 金属・プラスチック・鋼鉄

② バイオ系ベンチャー（東葛テクノプラザ・東大柏ベンチャー）

(2) 弱み ① 平均賃金が県内で劣位

② 核となる主要産業がない

③ 若手後継者不足

(3) 柏市のチャンス要因

① 柏北部地域の人口増

② 物流拠点整備→流通加工業の可能性

③ 商農工連携

(4) 柏市を脅かすもの

① 製造業の市外流出

② 少子高齢化

③ 国際競争力への懸念

柏市の工業（産業戦略）

最大の課題⇒**企業誘致**

(1) AI戦略都市構想

- ①恵まれた交通インフラ: 都心から30km, JR, TX, 東武
- ②産業支援・学術研究機構の集積
- ③地域活性化総合特区・環境未来都市
⇒産学連携と実証実験

(2) 重点プロジェクト

- ①柏の葉スマートシティ
- ②健康長寿・スマートヘルス（例. 電子母子手帳hahaco柏）
- ③ライフサイエンス: 柏の葉ヘルス・イノベーション構想
- ④高度道路交通システム

(3) 金融機関連携と企業誘致

(4) AI産学連携拠点

- ①東大柏の葉
- ②2017年度末 6000m²の研究施設完成

柏市の工業（今後）

（1）地域未来投資促進法の活用

①AI研究開発拠点を核に企業支援

⇒柏市に100億円の予算（日本全国で195億円の内）

②世界をリードするAI産業の創造と育成

⇒新たな企業誘致（例. プリントパック）

③AI戦略と連携した既存企業への支援

柏市の工業（市内の企業トリビア）

(1) パウダーテック（1966年設立、鉄鋼）

CANON製プリンターのトナーに使う鉄粉を供給

世界シェア60%⇒トナー向鉄粉（キャリア）供給量世界一

その他に

(2) 日立ヘルスケア マニュファクチュアリング本社工場

医療機器：NMR診断装置他

(3) オリエンタルモーター

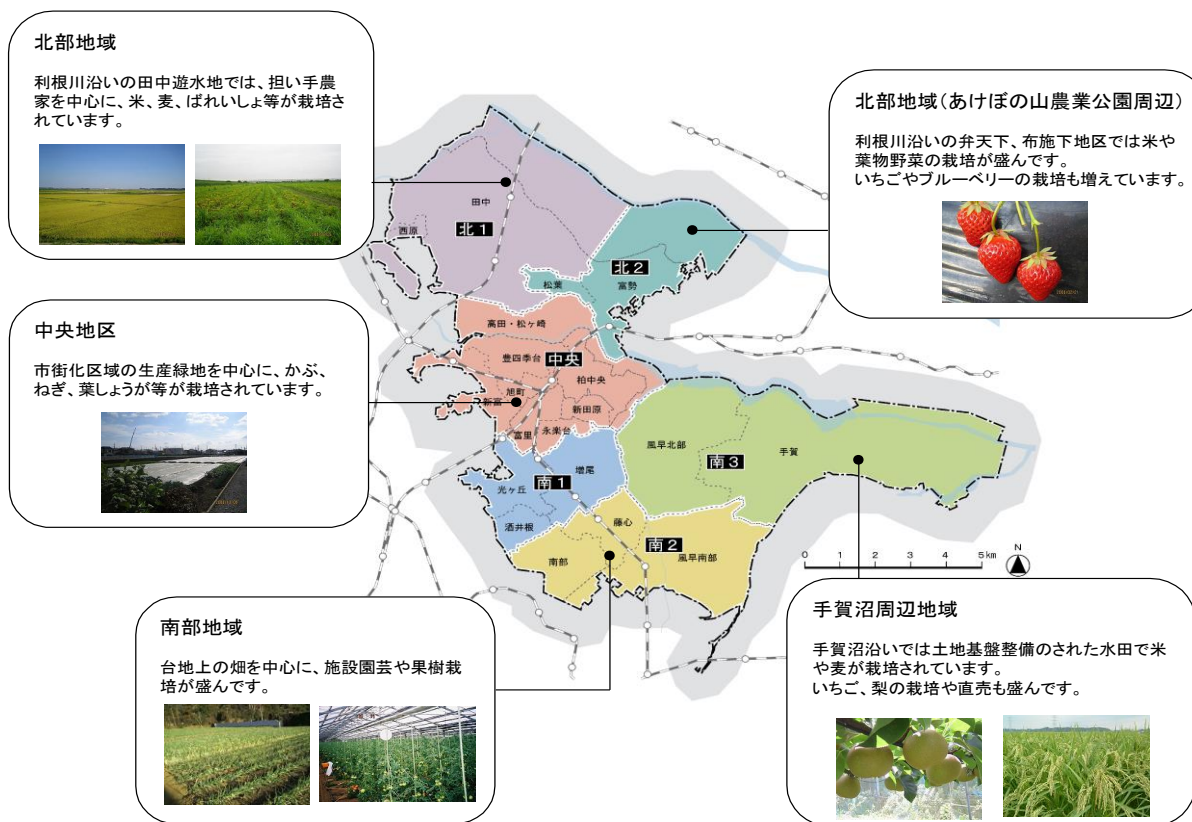
産業用小型モーターで大手

柏市の農業(現状)

都市と農村が共存する地域

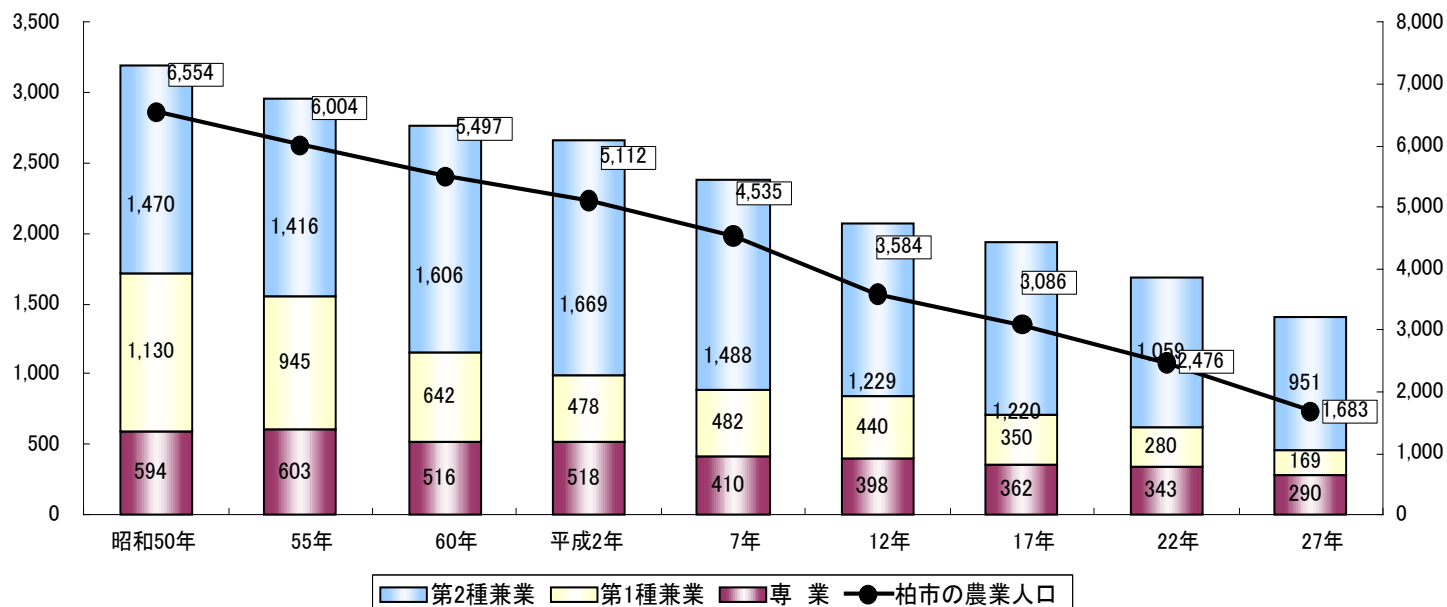
江戸時代から都市部へ農業物供給エリアとして発展

特に、野菜生産(カブ・ネギ・ホウレンソウなど)



柏市の農業(課題)

1. 農地面積の減少: 経営耕地の減少・耕作放棄地の増加
2. 農家数の減少(就業人口減)
農家数 1410戸(平成27年現在): 昭和50年比40%減
3. 就業人口減: 昭和50年比30%減
⇒ 今後も農地・農家就業人口の減少が続くと予想



柏市の農業(原因)

1. 市街化の急発展に伴う農業環境の悪化

つくばEX開通・ベッドタウン化・商業エリア増加など

2. 長時間労働・低収益

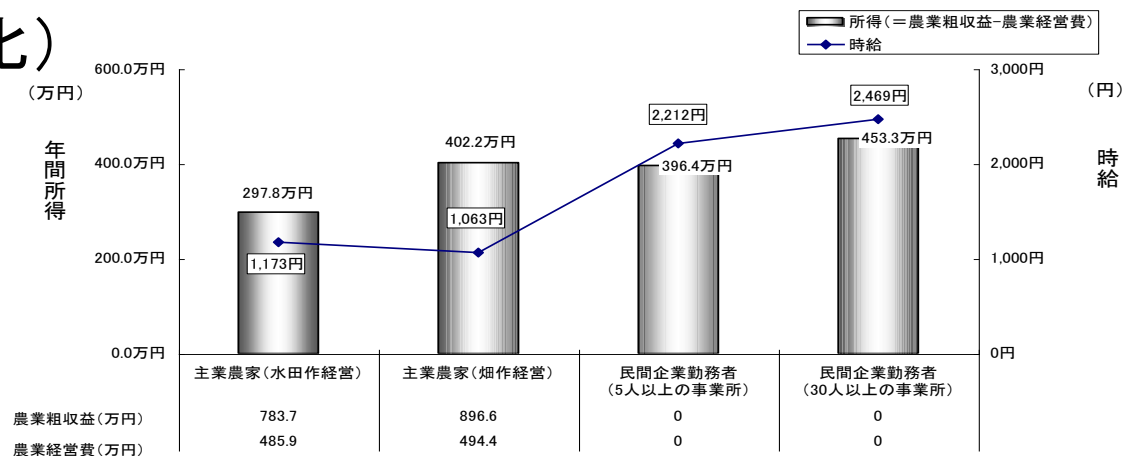
畑作経営農家:1063(円/h) 民間企業:2469(円/h)

農業収入1000万円以上 9.9%(平成22年現在)

長時間労働で休日少ない(後継者離れ)

3. 後継者不足

平均年齢66歳(高齢化)



柏市の農業（対策）

柏市都市農業の活性化（持続可能な農業育成）

⇒行政・市民と各エリア別農家の連携

1. 若手の育成（特に後継者）

①行政主導のセミナー開催

②農産物を超えた交流会・イベント開催

③他県・市の農家との意見交換会

④市民向け農業説明会・イベント開催

2. 農業（収穫）体験PR

①観光農園化による副収入確保（例. ナシ、イチゴ、ソラマメ、イモ堀など）

3. 市民と農家の交流

産地直売所の増設

拠点「あけぼの山農業公園」「道の駅しょうなん」拡充整備など

柏市の農業（対策）

4. 農産物加工品創造による副収入

柏市オリジナル品を地元製造業者と連携

5. 情報発信（HP・SNSなど）：農産物（安売り）・農業体験（収穫）など

柏市・柏市まちづくり公社・柏市観光協会（柏商工会議所）・

柏インフォメーションセンターへの掲載

⇒ 農家と市民の共存共栄を目指す



市民農園



小学校の稲刈り体験